

第1部

環境基本計画の進捗状況

第1部 環境基本計画の進捗状況

1 環境基本計画の概要

「福井県環境基本計画」は、平成7年3月に制定した「福井県環境基本条例」における「豊かで美しい環境の恵沢の享受と継承」、「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築」、「地球環境保全の推進」の3つの基本理念の実現を目指すため、同条例に基づき、策定するものです。

本県では、平成9年3月に最初の環境基本計画を策定し、その後の社会や経済等の情勢の変化を受け、平成14年度、平成20年度、平成25年度に見直しを行いました。

本県をとりまく社会・経済情勢の変化に対応した新たな環境施策が必要となったため、平成30年3月、これまでの施策の成果や県民意識も踏まえた新たな計画を策定しました。

(1) 計画の基本目標

計画の基本目標

前計画では、平成25年度に開催した SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合をきっかけとして、自然や文化をはじめとした本県の環境を守り育て、世界にアピールすることを目指し、様々な環境施策を総合的に展開しました。

「自然環境」・「環境教育」の分野では、里山里海湖研究所、年縞博物館を開設し、本県の里山里海湖を研究・保全・活用し、次の世代に伝えていく拠点づくり、また、「地球温暖化対策」の分野では、「1市町1エネおこし」事業や県内の防災拠点への太陽光発電の整備など、再生可能エネルギーの活用、「循環型社会」の分野では、「全国のおいしい食べ盛り運動ネットワーク協議会」の設立など、ものを大切に作る社会づくりを進めました。

今後も、県民一人ひとりが福井の美しい環境を守りながら活力あるふるさとを未来に繋いでいくため、本計画の基本目標を次のとおりとします。

ふるさとの美しい環境を守り育て福井の活力につなげる

(2) 施策の展開

環境基本計画では、「計画の基本的事項」をはじめ、自然環境、地球温暖化、循環型社会、水・大気環境、環境教育の各分野において、計画期間中に特に力点を置いて進める「重点プロジェクト」、重点プロジェクト以外の施策も含め、計画期間中に実施すべき施策を分野ごとに示す「分野別施策の展開」、巻末には、これら施策を着実に実施するための計画の推進体制等について表記しています。

第1編 計画の基本的事項

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画策定の背景
- 3 基本目標
- 4 計画期間
- 5 計画の構成
- 6 他の計画等との関係

第2編 重点プロジェクト

- 1 タイムスキャップ研究・活用プロジェクト
- 2 自然活用推進プロジェクト
- 3 未来を守るストップ温暖化プロジェクト
- 4 企業等による地域貢献プロジェクト
- 5 美しいふるさと景観づくりプロジェクト

第3編 分野別施策の展開

- 第1章 自然と共生する社会づくりの推進
- 第2章 地球温暖化対策の推進
- 第3章 循環型社会の推進
- 第4章 生活環境の保全
- 第5章 環境について自ら考え行動する人づくり
- 第6章 各分野に共通する施策の推進

第4編 計画の推進

- 1 計画の推進体制
- 2 計画の進行管理
- 3 環境指標

(3) 計画期間

平成30年度（2018年度）～令和4年度（2022年度） 5年間

2 重点プロジェクトの進捗状況

1 タイムスケイプ研究・活用プロジェクト

年縞を育んできた大地の形成過程、年縞に記録された7万年間の環境、人々の暮らしや歴史をもとにタイムスケイプ(時代ごとの風景)を明らかにし、自然と共生する知恵を読み解き、その成果を教育や観光に生かします。

具体的施策

- タイムスケイプ研究の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第1章第2節1(2) p 26
- タイムスケイプ学びの旅の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第1章第2節1(3) p 28
- 年縞国際ネットワークの構築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第1章第2節1(3) p 28

2 自然活用推進プロジェクト

本県の豊かな自然とふれあえる環境を整え、県内外の多くの人に本県の自然や自然と共生する文化を伝え、また、次世代を担う子どもなどを対象に森から海湖まで様々な環境での自然体験や学習の機会を提供し、里山里海湖をはじめとした豊かな自然を次世代に継承します。

具体的施策

- 生き物・星空の宝庫 六呂師高原の学びと体験の拠点化・・・・・・・・ 第1章第1節1(4) p 18
- 「学びの湖海」における自然体験活動の推進・・・・・・・・・・・・ 第1章第2節1(2) p 26
- 里海湖トレイルの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第1章第1節2(3) p 21

3 未来を守るストップ温暖化プロジェクト

さらなる県民意識の向上を図り、県民や事業者、団体、行政などの積極的な参画を得ながら、地球温暖化対策を推進します。

具体的施策

- 県民運動「LOVE・アース・ふくい」の推進・・・・・・・・・・・・・・ 第2章第2節【1】 p 56
- 元気な地域づくりにつながる再生可能エネルギー導入の推進・・・・ 第2章第2節【2】 p 62

4 企業等による地域貢献プロジェクト

環境CSR活動の盛り上がりを受け、企業など多様な主体が環境保全に関わり、美しい里山里海湖を次世代に繋げていくため、企業等による地域貢献を推進します。

具体的施策

- 環境CSR活動の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第6章第1節1(3) p 130
- 三方五湖・北潟湖の自然再生を多様な主体と協働して実施・・・・・・ 第1章第2節2(2) p 30
- 地域に貢献する廃棄物処理事業への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第3章第2節2(4) p 87

5 プロジェクト

環境CSR活動の盛り上がりを受け、企業など多様な主体が環境保全に関わり、美しい里山里海湖を次世代に繋げていくため、企業等による地域貢献を推進します。

具体的施策

- 里地里山の原風景の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 第1章第2節1(2) p 26
- 「しあわせ」を呼ぶ環境美化県民運動の実施・・・・・・・・・・・・・・ 第5章第2節1(3) p 128
- 魅力あるふるさと資産を観光資源として活用促進・・・・・・・・・・・・ 第1章第2節3(5) p 35

◆第1部 環境基本計画の進捗状況

3 環境指標の進捗状況

環境基本計画では、具体的施策の達成状況を把握するため、環境指標を設定しています。

《自然と共生する社会づくりの推進》

No	指標名	基準年度 (H28年度)	実績 (H30年度)	目標年度 (R4年度)
1	年縞博物館の入館者数*	—	30,818人	270,000人
2	自然再生団体、里山保全活動団等に対する専門家の派遣回数	40回	51回	50回
3	生き物百葉箱の参加団体数	169団体	187団体	200団体
4	生き物ぎょうさん里村認定集落数	47集落	50集落	54集落
5	地域住民、学生等が協力して里地里山の整備・保全を行う地区数	—	1地区	7地区
6	外来生物防除対策を実施する地区数*	—	20地区	25地区
7	農村における地域共同の環境保全向上に取り組む集落数	864集落	1,199集落	1,300集落
8	「多自然川づくり」の整備延長	58km	60km	62km
9	針広混交林化の面積	518ha	807ha	900ha (H31年度)
10	狩猟免許取得に関する普及啓発活動数*	—	4回	15回
11	大規模緩衝帯の整備面積	367.5ha	435.1ha	450ha
12	重要伝統的建造物群の保存	160棟	169棟	178棟

※印の指標の目標値は、計画実施期間（H30～R4）における累積の数値

≪地球温暖化対策の推進≫

No	指標名	基準年度 (H28年度)	実績 (H30年度)	目標年度 (R4年度)
1	温暖化防止を意識し、節電などに積極的に取り組んでいる県民の割合	29%	—	50%
2	地球温暖化防止活動推進員（アースサポーター）による出前講座実施回数	32回	24回	50回
3	ZEH導入件数	131件	292件	580件
4	県内中小企業の省エネを推進するためのガイドライン作成業種数	—	—	14業種
5	電気自動車（EV・PHV）の導入台数	1,507台	2,175台	3,600台
6	地域鉄道（えち鉄・福鉄）利用者数	5,585千人	5,744千人	5,795千人
7	「福井バイコロジスト」宣言者数	1,565人	1,580人	1,600人
8	「再エネ活用地域振興プロジェクト」による協議会を設置した地域数	—	1地域	6地域
9	間伐材生産量	128千m ³	124千m ³	140千m ³ (R元年度)
10	県の事務事業における省エネ目標達成状況（エネルギー消費量を前年度比1%削減）	41,686kl	39,917kl	35,849kl

≪循環型社会の推進≫

No	指標名	基準年度 (H28年度)	実績 (H30年度)	目標年度 (R4年度)
1	一人一日当たりごみ排出量 ^{*1}	906g(H25)	889g(H29)	863g(R2)
2	一般廃棄物のリサイクル率 ^{*2}	17.0%(H25)	18.0%(H29)	20.0%(R2)
3	一般廃棄物最終処分量 ^{*3}	29千t(H25)	27千t(H29)	25千t(R2)
4	産業廃棄物排出量 ^{*4}	2,895千t (H25)	2,895千t (H25)	2,895千t(R2)
5	産業廃棄物再生利用率 ^{*5}	45.1%(H25)	45.1%(H25)	45.6%(R2)
6	産業廃棄物最終処分量 ^{*6}	63千t(H25)	63千t(H25)	52千t(R2)
7	優良認定産業廃棄物処理業者数	80社	98社	100社
8	「食べきり運動」の県民認知度	71%	82%	80%
9	リユース行事を行う団体数	10団体	16団体	26団体
10	10t以上の不法投棄の新規発生件数	0件	0件	0件

※1～6については、「福井県廃棄物処理計画」に基づくこととし、R3以降の目標は計画期間終了時に改めて設定します。

◆第1部 環境基本計画の進捗状況

《生活環境の保全》

No	指標名	基準年度 (H28年度)	実績 (H30年度)	目標年度 (R4年度)
1	海水浴場の「適」達成率	100%	100%	100%
2	北潟湖・三方五湖のCOD環境基準達成率	50%	50%	56%
3	汚水処理人口普及率	95.2%	96.1%	99.0%
4	新たな地下水汚染地区数	0地区	1地区	0地区
5	光化学スモッグ注意報発令回数	0回	0回	0回
6	水質事故件数	4件	3件	0件
7	地域の環境保全活動に取り組む企業数*	—	—	5企業
8	「ふくいふるさとの音風景50選」を活用したイベント数*	34回	45回	74回

※印の指標の目標値は、計画実施期間（H30～R4）における累積の数値

《環境について考え自ら行動する人づくり》

No	指標名	基準年度 (H28年度)	実績 (H30年度)	目標年度 (R4年度)
1	里山里海湖学校教育プログラム活用学校数*	68校	160校	400校
2	大学等における環境教育関連講座等数*	7講座	4講座	15講座
3	若手環境リーダー育成事業参加者数*	—	73人	250人
4	「しあわせ」を呼ぶ環境美化県民運動イベント参加者数*	—	—	800人
5	学びの海湖登録数	—	5か所	5か所
6	「せせらぎ定点観測」参加者数*	333人	156人	650人
7	クリーンエリア宣言事業所数	1,464事業所	1,686事業所	2,000事業所
8	環境ふくい推進協議会ホームページアクセス件数	16,700件	14,378件	20,000件

※印の指標の目標値は、計画実施期間（H30～R4）における累積の数値